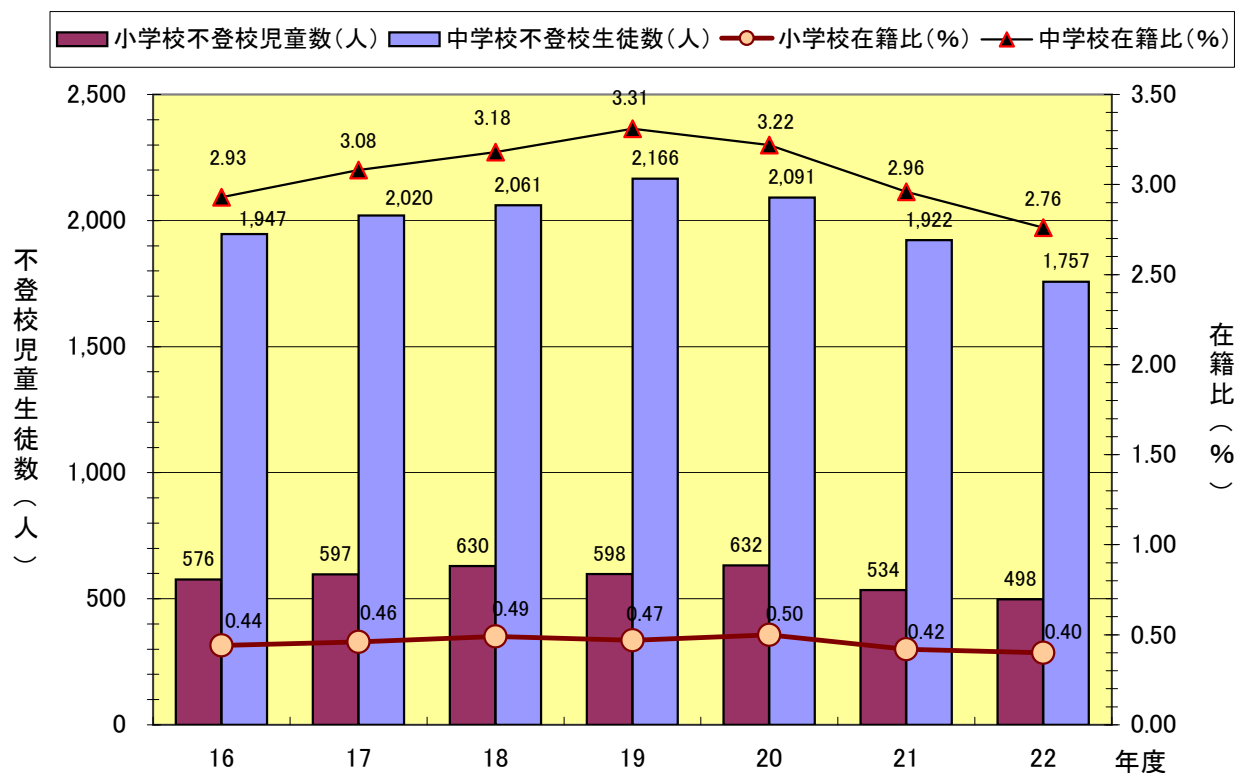


平成22年度児童生徒の不登校の状況について

訂正版

教学指導課心の支援室

1 不登校児童生徒数及び在籍比の推移



年 度		16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
小 学 校	人数(人)	576	597	630	598	632	534	498
	前年度増減	▲ 32	21	33	▲ 32	34	▲ 98	▲ 36
	在籍比 県(%)	0.44	0.46	0.49	0.47	0.50	0.42	0.40
	国(%)	0.32	0.32	0.33	0.34	0.32	0.32	0.32
中 学 校	人数(人)	1,947	2,020	2,061	2,166	2,091	1,922	1,757
	前年度増減	177	73	41	105	▲ 75	▲ 169	▲ 165
	在籍比 県(%)	2.93	3.08	3.18	3.31	3.22	2.96	2.76
	国(%)	2.73	2.75	2.86	2.91	2.89	2.77	2.73
合 計	人数(人)	2,523	2,617	2,691	2,764	2,723	2,456	2,255
	前年度増減	145	94	74	73	▲ 41	▲ 267	▲ 201
	在籍比 県(%)	1.28	1.34	1.39	1.43	1.42	1.29	1.20
	国(%)	1.14	1.13	1.18	1.20	1.18	1.15	1.13
高 等 学 校	人数(人)	—	731	800	755	669	664	732
	前年度増減	—	—	69	▲ 45	▲ 86	▲ 5	68
	在籍比 県(%)	—	1.14	1.27	1.22	1.10	1.10	1.20
	国(%)	—	1.66	1.65	1.56	1.58	1.55	1.66

(注) 1 調査名: 文部科学省「平成22年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」

2 調査対象: 県内全小中高等学校714校(国・私立を含む)

- ・不登校児童生徒数は、前年度に比べ小学校36人、中学校165人の減少となった。
- ・不登校児童生徒在籍比は、前年度に比べ小学校0.02ポイント、中学校は0.2ポイント下がった。
- ・高等学校では、前年度に比べ68人増加し、在籍比は0.1ポイント上がった。

2 直接のきっかけ別人数（複数回答）

[単位：人、%]

校種		小学校（割合）		中学校（割合）		高等学校（割合）	
区分							
学校	① いじめ	5	(1.0)	22	(1.3)	6	(0.8)
	② いじめを除く友人関係をめぐる問題	48	(9.6)	286	(16.3)	126	(17.2)
	③ 教師との関係をめぐる問題	39	(7.8)	143	(8.1)	4	(0.5)
	④ 学業の不振	47	(9.4)	206	(11.7)	68	(9.3)
	⑤ 進路にかかる不安	17	(3.4)	129	(7.3)	24	(3.3)
	⑥ クラブ活動、部活動等への不適応	1	(0.2)	37	(2.1)	14	(1.9)
	⑦ 学校のきまり等をめぐる問題	3	(0.6)	39	(2.2)	7	(1.0)
	⑧ 入学、転編入学、進級時の不適応	22	(4.4)	74	(4.2)	29	(4.0)
家庭	⑨ 家庭の生活環境の急激な変化	58	(11.6)	104	(5.9)	25	(3.4)
	⑩ 親子関係をめぐる問題	114	(22.9)	172	(9.8)	43	(5.9)
	⑪ 家庭内の不和	73	(14.7)	116	(6.6)	20	(2.7)
本人	⑫ 病気による欠席	53	(10.6)	145	(8.3)	78	(10.7)
	⑬ あそび・非行	17	(3.4)	130	(7.4)	35	(4.8)
	⑭ 無気力	46	(9.2)	213	(12.1)	126	(17.2)
	⑮ 不安などの情緒的混乱	116	(23.3)	400	(22.8)	208	(28.4)
	⑯ 意図的な拒否	69	(13.9)	173	(9.8)	26	(3.6)
	⑰ その他本人に関わる問題	65	(13.1)	167	(9.5)	33	(4.5)
	⑱ その他	26	(5.2)	54	(3.1)	4	(0.5)
	⑲ 不明	15	(3.0)	35	(2.0)	1	(0.1)

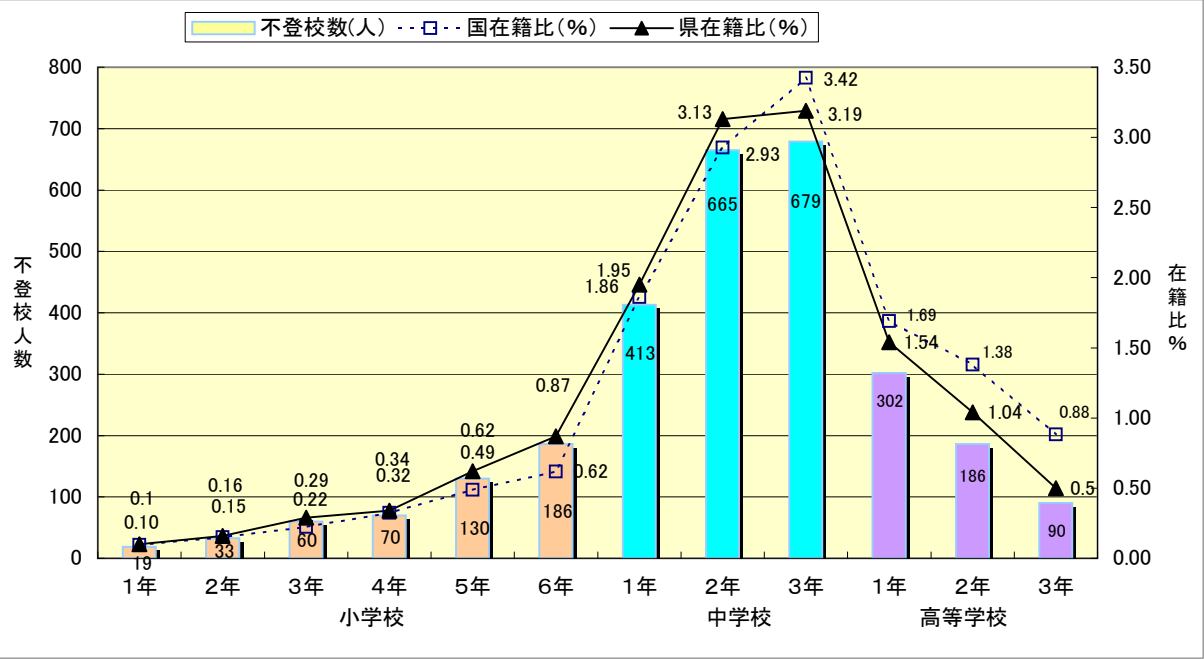
(注) 1 調査名：文部科学省「平成22年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」

2 調査対象：県内全小中高等学校714校(国・私立を含む)

3 割合(%)は、各区分における不登校児童生徒数に対する割合。

- ・小学校では「不安などの情緒的混乱」が最も多く、次いで「親子関係をめぐる問題」の順である。
- ・中学校では「不安などの情緒的混乱」が最も多く、次いで「いじめを除く友人関係をめぐる問題」「無気力」の順である。
- ・高等学校では「不安などの情緒的混乱」が最も多く、次いで「いじめを除く友人関係をめぐる問題」「無気力」の順である。

3 小中高等学校における学年別不登校児童生徒数と在籍比



(注) 1 調査名：文部科学省「平成22年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」

2 調査対象：県内全小中高等学校714校(国・私立を含む) 高等学校の4年生、単位制の人数は除く

3 学年在籍比(%) = 学年不登校児童生徒数 / 学年児童生徒数 × 100

- ・不登校児童生徒数は、小学校では6年生が最も多く、中学校では3年生が最も多くなっている。また、在籍比も小学校では6年生が最も高く、中学校では3年生が最も高くなっている。
- ・高等学校では、学年が上がるにつれて、不登校数が減少している。

4 小中学校における不登校児童生徒への指導結果の状況

(単位:人、%)

年 度			17 年度	18 年度	19 年度	20 年度	21 年度	22 年度	6 年間平均
指導の結果登校できるようになった児童生徒	小学校	人数(人)	196	245	201	234	182	188	207.7
		構成比 (%)	県	33.1	39.1	34.0	37.3	34.2	35.9
			国	32.5	32.6	32.6	32.0	32.8	32.5
	中学校	人数(人)	751	766	830	873	691	603	752.3
		構成比 (%)	県	37.6	37.5	38.6	42.1	36.3	37.8
			国	29.7	29.9	30.1	30.1	29.8	30.1
	合計	人数(人)	947	1011	1031	1107	873	791	960
		構成比 (%)	県	36.6	37.9	37.6	41.0	35.9	37.4
			国	30.2	30.4	30.5	30.4	30.3	30.5

(注) 1 調査名:文部科学省「平成22年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」

2 調査対象:県内公立小中学校 578 校

・不登校児童生徒のうち、指導の結果登校できるようになった児童生徒の割合は、小学校で全体の 37.9%、中学校では全体の 34.7%である。

5 課題と今後の対応

(1) 現状

- ・平成22年度不登校児童生徒数および在籍比の減少
- ・新規不登校児童生徒数の減少
- ・学校・市町村教育委員会・関係機関等の取組の一定の成果

(2) 課題

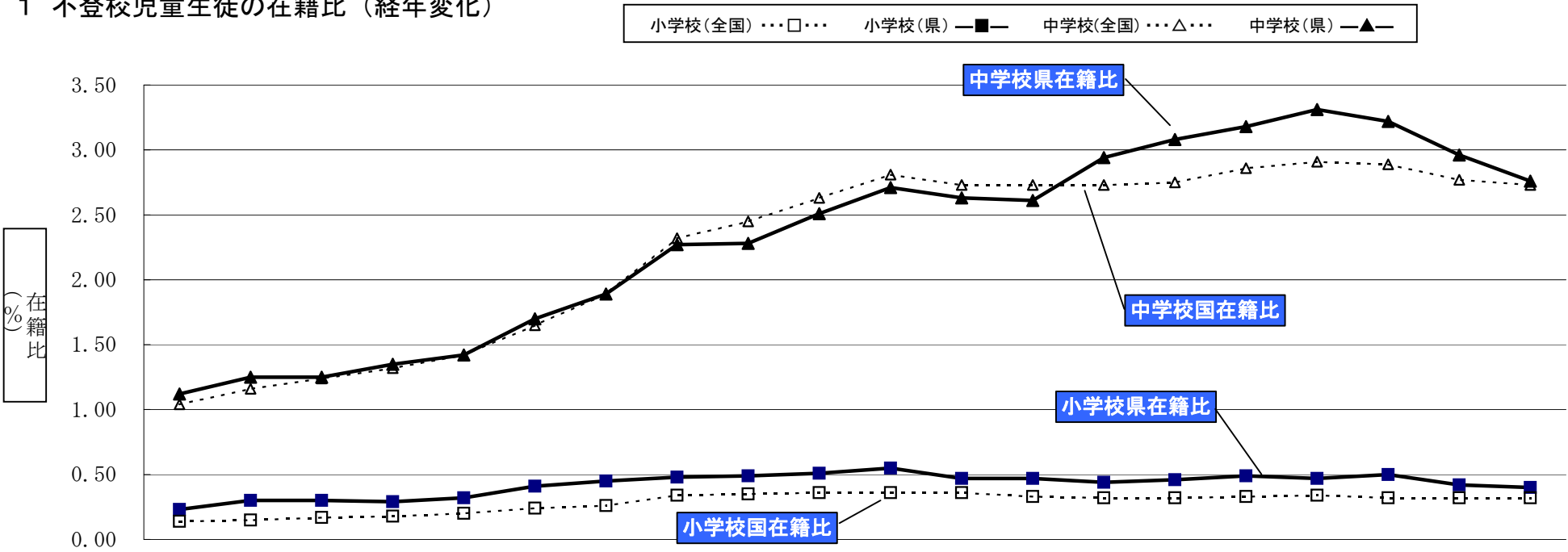
- ① 不登校施策における県・市町村教育委員会の一層の連携と役割の明確化
- ② 県・市町村における児童生徒の不登校状況の多角的な分析
- ③ 分析に基づいた不登校施策の重点化、総合的な施策の推進

(3) 今後の対応

- ① 市町村教育委員会が主体となった取組の支援
 - ・保健・福祉等の首長部局や医療等関係機関・地域との一層の連携
 - ・「不登校児童生徒地域支援チーム」整備事業、「笑顔で登校」支援事業
 - ・全県研修会、地区推進会議の実施 等
- ② 「新たな不登校」を出さないための取組
 - ・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、子どもと親の相談員等の相談・支援体制の充実
 - ・児童生徒理解に基づく不登校児童生徒の早期発見・早期対応
 - ・人間関係を築く力の育成（学び合い、支え合う授業、学級集団づくり等）
- ③ 「社会的自立」に向けた進路形成の取組
 - ・幼保小中高の一層の連携
 - ・中3不登校児童生徒の進路指導、学習支援

[資料]

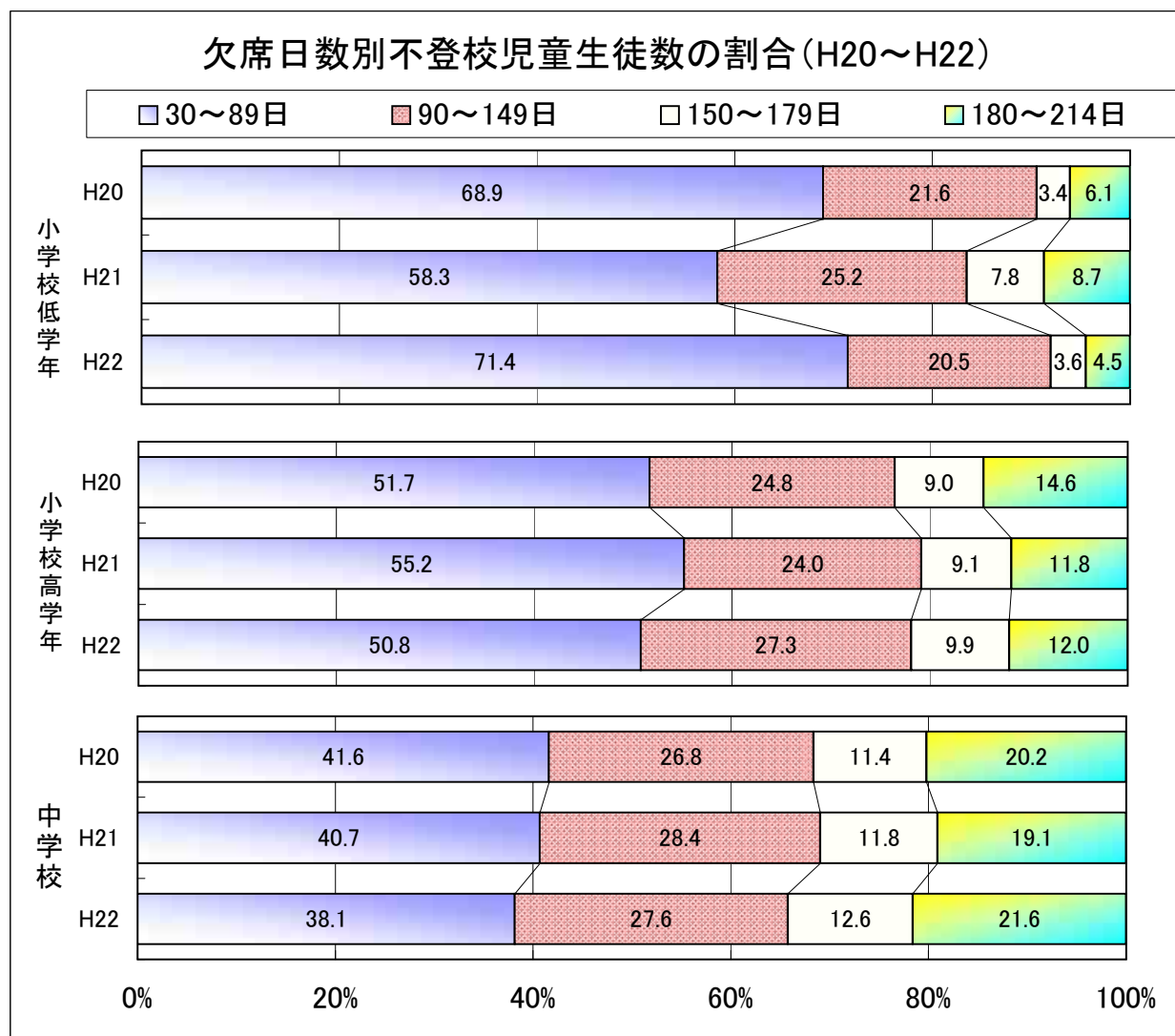
1 不登校児童生徒の在籍比（経年変化）



年 度		3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
小学校	不登校児童（人）	359	459	455	440	470	596	626	657	657	686	729	620	608	576	597	630	598	632	534	498
	県在籍比（％）	0.23	0.30	0.30	0.29	0.32	0.41	0.45	0.48	0.49	0.51	0.55	0.47	0.47	0.44	0.46	0.49	0.47	0.50	0.42	0.40
	全国在籍比（％）	0.14	0.15	0.17	0.18	0.20	0.24	0.26	0.34	0.35	0.36	0.36	0.36	0.33	0.32	0.32	0.33	0.34	0.32	0.32	0.32
	全国順位	3	1	4	5	4	4	4	5	6	5	4	6	5	7	4	3	4	1	5	7
中学校	不登校生徒（人）	1,028	1,115	1,079	1,106	1,126	1,330	1,471	1,741	1,711	1,826	1,933	1,820	1,770	1,947	2,020	2,061	2,166	2,091	1,922	1,757
	県在籍比（％）	1.12	1.25	1.25	1.35	1.42	1.70	1.89	2.27	2.28	2.51	2.71	2.63	2.61	2.94	3.08	3.18	3.31	3.22	2.96	2.76
	全国在籍比（％）	1.04	1.16	1.24	1.32	1.42	1.65	1.89	2.32	2.45	2.63	2.81	2.73	2.73	2.73	2.75	2.86	2.91	2.89	2.77	2.73
	全国順位	15	16	22	24	22	20	20	29	30	29	25	26	26	12	7	8	5	5	7	21

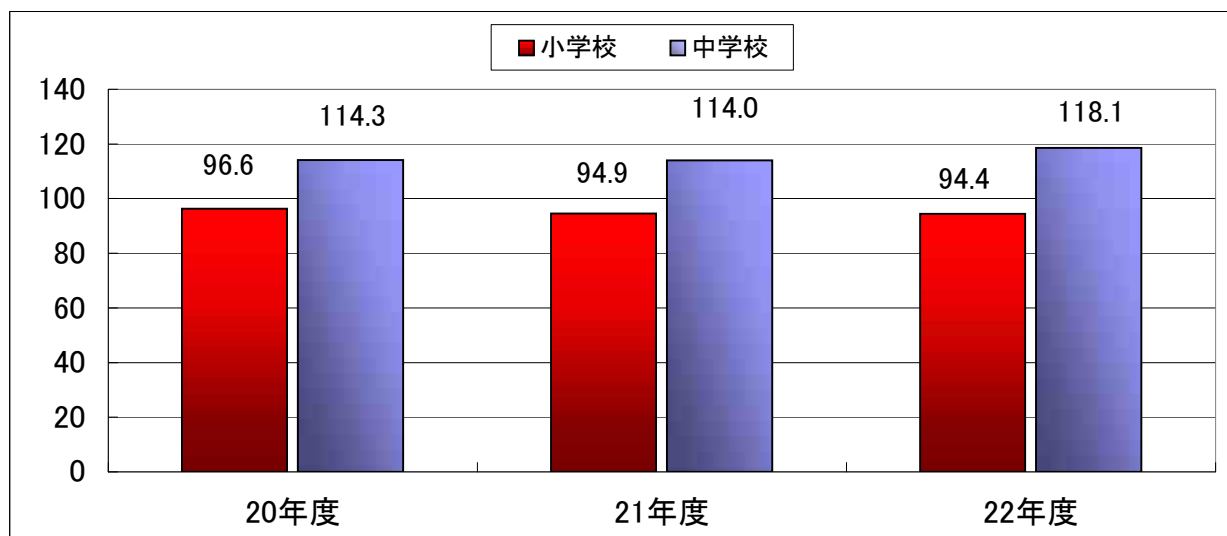
〔資料〕

2 平成22年度 不登校児童生徒の欠席日数の状況



不登校児童生徒1人当たり平均欠席日数

（単位：日）



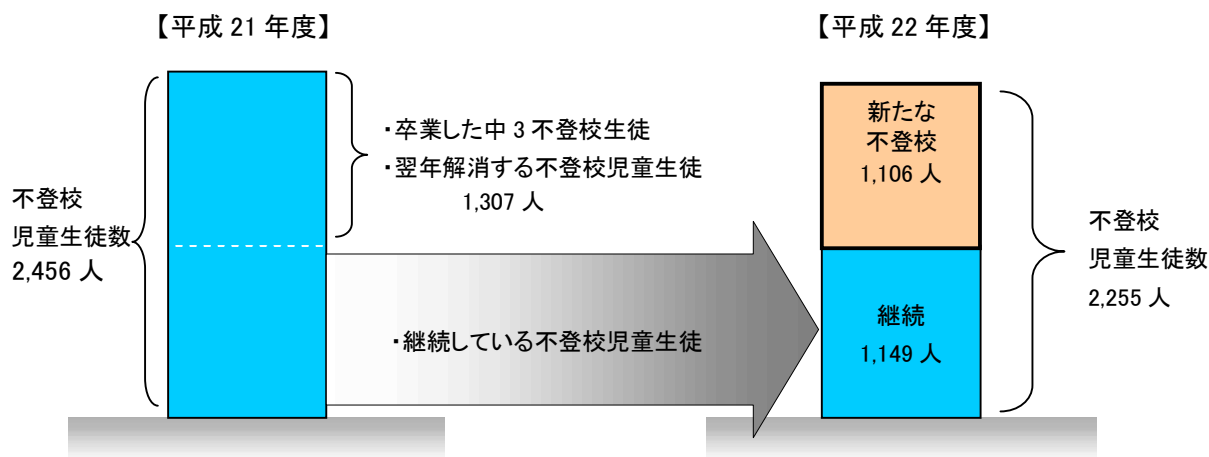
（注）調査名：長野県教育委員会「平成22年度不登校児童生徒の状況報告書（年間）」

- ・小中学校とも、学年が上がるにつれて欠席日数の多い児童生徒が増える傾向がある。
- ・小学生の不登校児童平均欠席日数が減少傾向にある。

〔資料〕

3 小中学校における継続・新規不登校児童生徒数

＜図1：不登校児童生徒数の構成＞



＜表1 小中学校における継続・新規不登校児童生徒数の推移＞

(単位: 人、%)

		17 年度	18 年度	19 年度	20 年度	21 年度	22 年度	6 年間 平均
小学校	不登校児童数 (A+B)	597	630	598	632	534	498	582
	前年度から継続している不登校数 (A)	199	184	170	174	194	189	185
	(構成比)	33.3%	29.2%	28.4%	27.5%	36.3%	38.0%	32.1%
	新たな不登校児童数 (B)	398	446	428	458	340	309	397
	(構成比)	66.7%	70.8%	71.6%	72.5%	63.7%	62.0%	67.9%
中学校	不登校生徒数 (A' + B')	2020	2061	2166	2091	1922	1757	2003
	前年度から継続している不登校数 (A')	971	1021	1091	946	981	960	995
	(構成比)	48.1%	49.5%	50.4%	45.2%	51.0%	54.6%	49.8%
	新たな不登校生徒数 (B')	1049	1040	1075	1145	941	797	1008
	(構成比)	51.9%	50.5%	49.6%	54.8%	49.0%	45.4%	50.2%
小学校 中学校 合 計	不登校児童生徒数 (A'' + B'')	2617	2691	2764	2723	2456	2255	2585
	前年度から継続している不登校数 (A'')	1170	1205	1261	1120	1175	1149	1180
	(構成比)	44.7%	44.8%	45.6%	41.1%	47.8%	51.0%	45.6%
	新たな不登校児童生徒数 (B'')	1447	1486	1503	1603	1281	1106	1405
	(構成比)	55.3%	55.2%	54.4%	58.9%	52.2%	49.0%	54.4%

＜表2 小中学校における学年別継続・新規不登校児童生徒数＞

(単位: 人、%)

平成22年度	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
学年別不登校児童生徒数	19	33	60	70	130	186	413	665	679
継続不登校児童生徒数	—	8	21	17	45	98	114	364	482
(構成比)	—	24.2	35.0	24.3	34.6	52.7	27.6	54.7	71.0
新たな不登校児童生徒数		25	39	53	85	88	299	301	197
(構成比)		75.8	65.0	75.7	65.4	47.3	72.4	45.3	29.0

(注) 1 調査名：文部科学省「平成 22 年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」

2 調査対象：県内小中学校 592 校 (国・私立を含む)

- ・前年度から継続している不登校児童生徒数の過去6年間の平均は、小学校では185人で32.1%であり、中学校では995人で49.8%である。
- ・小学校・中学校ともに、新たな不登校児童生徒数および構成比が減少している。

4 県内各市郡の不登校児童生徒数の推移

(1)小学校

(単位:人)

年度	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	在籍比 (%)	21年	在籍比 (%)	22年	在籍比 (%)
小諸市	12	15	14	8	16	10	17	15	15	0.59	13	0.52	10	0.42
佐久市	38	48	36	35	33	35	31	26	30	0.49	19	0.32	21	0.36
上田市	64	57	59	64	57	55	37	33	36	0.38	31	0.33	36	0.39
東御市	10	9	5	1	6	6	6	8	9	0.47	8	0.43	6	0.33
伊那市	16	27	13	16	16	26	24	18	30	0.70	20	0.47	13	0.31
駒ヶ根市	5	8	6	5	9	11	11	18	16	0.76	12	0.58	10	0.49
岡谷市	13	17	6	8	6	14	18	14	10	0.32	25	0.80	15	0.50
諏訪市	13	10	3	9	13	13	8	10	17	0.56	7	0.23	6	0.20
茅野市	14	13	8	5	9	3	2	3	8	0.24	4	0.12	4	0.12
飯田市	24	29	31	23	27	32	34	31	18	0.28	20	0.32	22	0.35
松本市	75	76	73	68	58	81	85	80	98	0.71	78	0.57	65	0.48
塩尻市	14	10	8	13	15	15	22	13	8	0.21	10	0.26	8	0.21
大町市	14	20	10	8	6	11	10	13	9	0.51	9	0.53	10	0.62
安曇野市	36	43	37	41	38	24	29	36	45	0.77	44	0.76	33	0.57
長野市	109	111	120	117	94	91	98	96	100	0.45	87	0.39	90	0.41
須坂市	14	11	8	6	11	11	9	9	13	0.41	11	0.35	12	0.39
中野市	15	14	21	17	13	12	16	12	9	0.31	8	0.28	7	0.25
飯山市	6	17	6	4	5	6	14	7	7	0.50	4	0.31	7	0.56
千曲市	28	33	27	27	14	18	26	21	20	0.55	24	0.67	17	0.48
南佐久郡	11	10	9	11	12	10	6	7	6	0.39	2	0.14	4	0.28
北佐久郡	16	15	17	15	10	15	14	17	16	0.65	14	0.57	14	0.57
小県郡	5	1	1	2	0	2	3	2	2	0.35	0	0.00	0	0.00
上伊那郡	33	38	18	9	16	13	19	19	26	0.52	15	0.30	17	0.35
諏訪郡	16	11	5	8	7	6	9	7	5	0.21	5	0.22	3	0.13
下伊那郡	22	20	17	15	17	21	19	18	17	0.44	15	0.39	17	0.45
東筑摩郡	6	4	6	10	12	10	12	15	16	1.16	12	0.90	13	0.99
木曽郡	14	12	9	18	15	10	12	10	9	0.59	5	0.34	7	0.50
北安曇郡	13	11	11	14	15	14	18	17	14	0.76	12	0.66	11	0.61
埴科郡	5	6	11	3	4	2	2	2	4	0.46	3	0.35	2	0.24
上高井郡	6	7	3	7	5	3	3	4	3	0.26	4	0.37	2	0.19
下高井郡	10	13	7	6	2	1	5	6	7	0.59	7	0.61	6	0.55
上水内郡	6	6	7	4	7	9	7	4	3	0.25	3	0.25	7	0.60
下水内郡	(非公表)													
県在籍比 (%)	0.51	0.55	0.47	0.47	0.44	0.46	0.49	0.47	0.50		0.42		0.40	

※数値は、平成23年4月1日現在の市町村の区割りとする。

※県在籍比は国立・私立を含む。

※組合立小学校は除く。

(2)中学校

(単位:人)

年度	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	在籍比 (%)	21年	在籍比 (%)	22年	在籍比 (%)
小諸市	34	38	25	20	17	24	35	40	33	2.52	40	2.99	39	3.00
佐久市	99	106	102	106	122	134	105	114	110	3.66	118	3.85	99	3.24
上田市	196	191	181	154	172	161	170	153	141	2.95	121	2.55	101	2.22
東御市	15	16	29	20	17	26	33	31	38	3.93	40	4.04	48	4.97
伊那市	45	55	45	45	75	67	76	72	70	3.27	63	2.95	61	2.90
駒ヶ根市	25	15	14	10	14	20	25	27	33	3.17	35	3.38	31	2.99
岡谷市	43	53	40	37	51	68	68	77	76	5.08	73	4.80	59	3.86
諏訪市	24	33	29	22	37	32	53	58	43	3.02	23	1.57	26	1.78
茅野市	51	50	32	31	33	27	21	21	16	1.00	13	0.81	12	0.76
飯田市	79	89	83	68	73	95	108	141	110	3.40	84	2.67	67	2.16
松本市	146	146	152	148	162	166	219	213	217	3.35	235	3.68	227	3.63
塩尻市	46	38	51	46	50	45	38	46	44	2.32	26	1.35	20	1.04
大町市	24	39	47	41	45	44	38	44	46	4.84	21	2.21	15	1.57
安曇野市	65	68	78	69	66	64	59	63	78	2.67	79	2.66	83	2.89
長野市	377	400	356	377	377	396	393	432	413	3.96	369	3.53	368	3.55
須坂市	50	64	70	76	76	55	58	45	51	3.31	48	3.08	31	2.04
中野市	56	46	47	40	66	59	59	48	55	3.73	31	2.06	30	2.13
飯山市	30	33	19	13	20	21	14	20	21	2.76	24	3.12	22	2.91
千曲市	63	56	55	52	76	63	54	65	62	3.21	41	2.12	41	2.14
南佐久郡	19	12	18	18	18	21	22	27	23	3.21	16	2.31	8	1.24
北佐久郡	46	54	40	40	31	51	47	44	38	3.36	32	2.83	37	3.18
小県郡	6	4	5	9	11	7	4	4	3	1.67	4	1.99	5	2.72
上伊那郡	35	52	47	50	56	71	84	92	80	3.16	102	4.02	86	3.43
諏訪郡	24	21	15	19	25	38	35	34	36	2.95	37	3.11	16	1.34
下伊那郡	36	54	49	59	51	64	51	58	62	2.97	58	2.88	51	2.63
東筑摩郡	7	2	2	4	3	4	3	3	3	2.14	5	4.63	2	1.64
木曽郡	29	41	29	29	17	23	22	26	26	2.71	20	2.22	20	2.42
北安曇郡	34	37	35	22	19	25	33	35	30	2.96	28	2.85	23	2.43
埴科郡	(非公表)													
上高井郡	6	12	16	16	13	6	11	20	20	3.39	21	3.42	10	1.71
下高井郡	28	20	16	28	41	31	28	29	19	2.60	20	2.83	22	3.17
上水内郡	25	16	20	25	33	27	20	18	25	3.61	28	4.28	25	3.99
下水内郡	(非公表)													
県在籍比 (%)	2.51	2.71	2.63	2.61	2.94	3.08	3.18	3.31	3.22		2.96		2.76	

※数値は、平成23年4月1日現在の市町村の区割りとする。

※県在籍比は国立・私立を含む。

※組合立中学校は除く。